

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 9 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 **新** 県産農産物等加工食品販売促進支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 流通企画係 電話番号:058-272-8417

E-mail: c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,000 千円 (現計予算額 : 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県産農畜水産物を活用した加工食品においては、コロナ禍による移動の自粛や旅行機会の減少の影響を受けたものを中心に、令和 2 年度以降、需要が減少している。また、需要が低迷した農畜水産物を活用して新たに加工食品を開発するものの、認知度の向上や販路の開拓が課題となる。

コロナ禍の長期化に伴い、行動変容による生活様式の変化が進み EC 需要が伸びる一方、ワクチンの接種も進み対面販売機会の回復も期待されており、事業者にはアフターコロナを見据えたバランスのとれたプロモーションへの対応が求められている。

(2) 事業内容

県産農畜水産物を使用した加工食品で、売上が減少したもの、又は需要が減少した農畜水産物を用いた加工食品の販売促進に向け、展示商談会や販売イベントへの出展経費を補助し、対面を含めた販売・商談需要に応じた対応を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

定額（上限 200 千円）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	展示商談会、販売イベント等出展経費補助
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

3 ぎふ農畜水産物のブランド展開

②大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化

(2) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスに係る緊急措置のため、後年度負担はなし。

(3) 要望の状況

○自民党政調要望

新型コロナウイルス感染症に係る緊急要望【第6弾】

「需要減少により出荷できない農畜水産物について、加工品として販路拡大を図ること」 など

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県産農産物等加工食品販売促進支援事業費補助金
補助事業者（団体）	県産農畜水産物を活用する加工食品製造事業者、同加工食品の販売事業者（6次産業化、農商工連携、一般食品事業者） （理由）県産農畜水産物を活用した加工食品を製造・販売する団体等を支援するため
補助事業の概要	（目的） 県産農畜水産物を使用した加工食品で、売上が減少したもの、又は需要が減少した農畜水産物を用いた加工食品の販売促進に向け、展示商談会や販売イベントへの出展経費を補助し、対面を含めた販売・商談需要に応じた対応を支援する。 （内容） 展示商談会、販売イベントの出展費補助
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）定額 （理由）経済対策、需要喚起策として速やかに行う必要があることから定額とする
補助効果	商談会を通じた卸売・業務需要や販売イベントを通じた小売需要に向けた販路開拓を支援することで、減少している売上の回復や新商品の販路確保を図る。
終期の設定	終期 令和3年度 （理由）経済対策、需要喚起策として行うため。

（事業目標）

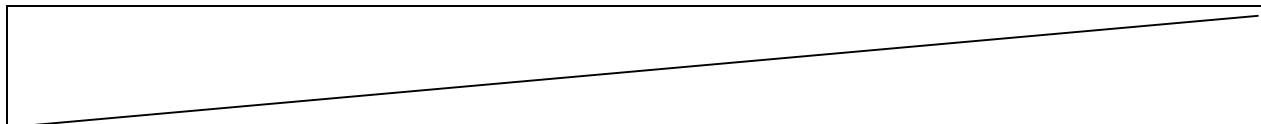
<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p style="margin-left: 20px;">県産農畜水産物を活用した加工食品の、コロナ禍の影響により減少した売上高を回復する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① GIFTS PREMIUM における 6 次産業 化商品の売上高 R1 年比	87%	100%	100%
②			

				R2 年度 (予算額) 千円	R3 年度 (要求) 千円
補助金交付実績					5,000
指標①目標				100%	100%
指標①実績				87%	(推計値) 100%
指標①達成率				87%	(推計値) 100%
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率				(推計値)	(推計値)

(前年度の成果)



(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
 コロナ禍により減少した売上の回復を図るため、販路開拓に加え P R や販売促進を図るとともに、食と農に関わる事業者間の連携など、事業者の事情に応じた支援を展開する必要がある。

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い	
(評価) ○	コロナ禍の影響により、県産農畜水産物を活用した加工食品の売上高が低迷する環境にある。 販路開拓に向けた取組を支援することで、加工食品事業者の売上高の回復を図るとともに、県産農畜水産物の需要の下支えを図ることができる。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) —	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある	
(評価) —	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・ 廃止
(理由) コロナ禍により影響を受けた6次産業化事業者をはじめとする食品事業者の支援にあたっては、販路開拓に加え、PRや販売促進、食と農に関わる事業者間の連携など、事業者の事情に応じた支援を展開する必要がある。